

# ボウリング競技（知的障害者部門）申し合わせ事項

開催日:5月27日(土)

会 場:東京ポートボウル

## 競技規則

本項に定める以外は、平成 29 年度公益財団法人日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

## 競技方法

- (1) 競技はヨーロピアン方式で行う。
- (2) 各グループ内 2 ゲームの得点合計ピンの多い者から勝者の順位を決定する。
- (3) 同数の場合は、同じ順位を与える。
- (4) ボウリングシューズ、ボールは個人所有のものを使用することが望ましいが、所有していない者は、ハウスボール、ハウスシューズを使用すること。(各自で自販機にてレンタルすること。シューズ借用料 300 円)
- (5) 大会の運営、競技の運営・進行については、全て大会役員、審判の指示に従うこと。
- (6) 出場選手は、男女ともスラックスまたは、トレーニングパンツを着用すること。

## 注意事項

- (1) 申込書は**様式個人競技-6「ボウリング競技参加申込書」**を提出すること。
  - (2) 競技は以下の 3 グループに分けて行う。
    - ・Aグループ 少年男子（～19 歳）・全ての女子 受付 9 時 00 分～ 競技 9 時 30 分～11 時 30 分
    - ・Bグループ 青年男子（20～35 歳） 受付 11 時 30 分～ 競技 12 時～14 時
    - ・Cグループ 壮年男子（36 歳～） 受付 14 時 00 分～ 競技 14 時 30 分～16 時 30 分
  - (3) 試合欠場の連絡は、なるべく前日までに（公社）東京都障害者スポーツ協会に連絡のこと。
  - (4) 出場選手は、受付で選手名簿に登録されていることを確認すること。
  - (5) 試合終了後は、ボックス付きの役員と共に表彰式の場所に移動し、表彰を受けるが、表彰終了までゼッケンを着用すること。なお、使用したゼッケンは、各自持ち帰ること。
  - (6) 競技開始後、選手、審判以外のボウラーズベンチへの立ち入りは禁止する。どうしても必要のある時のみ、必ず審判の許可を得てボウリングシューズに履き替えて入ること。
  - (7) 競技開始後、ボウラーズベンチ内でのコーチングは認めない。
  - (8) 競技中、選手がトイレを使用する時は、審判の許可を受け、靴を履きかえてトイレに行くこと。
  - (9) 特別な理由が無い限り、競技中は飲食を禁止する。
  - (10) 控室、休憩室は特別に設けない。緊急の場合は、本部に連絡すること。
  - (11) 出場選手が所属する団体から欠場選手が出た場合、未登録の選手が代わりに出場することはできない。
  - (12) プログラムのミスプリント、欠落がある場合、事前に分かった場合は（公社）東京都障害者スポーツ協会に連絡すること。また、当日判明した場合は、受付で申告すること。
  - (13) 表彰は、試合終了後、各組ごとに行うため、組ごとに時間が異なるので注意すること。
- ※プログラムやゼッケンは、団体一括で申込した場合は申込担当者へ、個人で申込みした方については申込した方に事前に送付する。

## ※障害別参加区分

障 害 区 分	区分番号
知的障害	1